令和８年第２１回公安委員会会議録				
日　時	９月３日（木曜日）　自午後　１時３０分　至午後　４時００分		場　所	公安委員会室
会　議 出席者	公安委員	野口委員長　宮尾委員　吉田委員　野村委員　森江委員		
	警察職員	警察本部長　警務部長　生活安全部長　刑事部長 交通部長　警備部長　情報通信部長		

第１　聴聞等についての決裁

聴聞２件、意見の聴取７件の決裁（運転免許課）

第２　定例会議

１　令和８年上半期の犯罪認知・検挙状況等について

警察本部から、令和８年上半期における「電話で『お金』詐欺」やストーカー・ＤＶ事案等犯罪の認知状況、少年の検挙・補導状況、サイバー犯罪や生活環境事犯の検挙状況、熊本県警察街頭防犯カメラシステムの運用状況等について報告が行われた。

公安委員から「この数年、刑法犯認知件数が右肩上がりになっている。人口減少や少年の倫理観・道徳観の低下などが様々な問題につながっているのではないかと思う。」旨の発言があり、警察本部から「刑法犯認知件数の総量を押し上げているのは、初発型の自転車盗や万引きであり、これについては子供の規範意識の低下の問題やＳＮＳの影響も要因の一つと考えられるほか、高齢者の万引き事案も一定数発生している。」旨の説明があった。

また、関連して公安委員から「防犯カメラの普及や商品管理の機械化、自転車盗難保険の普及などにより窃盗の被害が顕在化しているのではないか。」旨の発言があった。

このほか、公安委員から「電話で『お金』詐欺については、被害額が倍増している。金融機関もセキュリティ面を強化して対策を講じているものの、システム投資に多額の費用がかかるなどの課題がある。」「子供たちを取り巻く環境が変わる中、学校警察連絡協議会の活動やスクールサポーターによる応援等、警察と学校が連携して対応しているが、学校だけではなく、家庭や地域にも情報を発信していかなければならないと思うので、引き続き情報発信をお願いする。」旨の発言があった。

２　令和８年上半期の犯罪検挙状況について

警察本部から、令和８年上半期における犯罪の検挙状況について報告が行われた。

３　令和８年秋の全国交通安全運動の実施について

警察本部から、令和８年９月２１日から同月３０日までの１０日間実施される秋の全国交通安全運動について、運動重点のほか、関連行事予定について報告が行われた。

第３　報告・決裁等

1　援助の要求の決裁（生活安全部、警備部）
2　苦情（Ｒ８．№１１）の調査結果の決裁（捜査第二課、公安委員会事務室）
3　熊本県行幸啓についての報告（警備第二課）
4　令和８年全国優良警察職員表彰被表彰者決定の報告（監察課）
5　令和８年公安委員会会議録（第１９回、電話会議（７／２９～８／１７））の決裁（公安委員会事務室）
6　苦情（Ｒ８．№１９）の受理の決裁（公安委員会事務室）
7　審査請求（Ｒ８.№１１）の受理の報告（公安委員会事務室）